

これまでに肺がんの手術治療を受けた患者さんへ 【過去の検体・治療データの調査研究への使用のお願い】

順天堂大学医学部人体病理病態学講座では「Automated tissue micro-dissection punching system を用いた肺がんにおける組織特異的遺伝子発現解析」という研究を行っております。この研究は、患者さんの腫瘍検体を顕微鏡下に微小な部位ごとに採取し、次世代シーケンサーを用いた遺伝子解析を行うことにより、がんの組織構築に対応した遺伝子発現リストの作成や治療感受性バイオマーカーの開発を目指しています。そのため、過去に肺癌の治療を受けた患者さんから採取されたがん検体やカルテ等の治療データを使用させていただきます。

この研究の対象となる患者さんは、肺がんの方で、西暦 2010 年 4 月 1 日から西暦 2021 年 12 月 31 日の間に呼吸器外科で肺がんの手術治療を受けた方です。

利用させていただくカルテ情報は下記です。

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査）

この研究は順天堂大学医学部研究等倫理委員会の承認を受けて行われます。

・研究実施期間 西暦 2017 年 10 月 1 日 ~ 西暦 2027 年 3 月 31 日まで

・研究責任者 林 大久生

・研究分担者 竹山 春子、松永 浩子、神原 秀記、細川 正人、齋藤 剛、高持 一矢、高橋 史行、高橋 清文、坂梨 千佳子

すでに採取された検体及び過去の データを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離した上で使用します。また、研究成果を学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できる個人情報を含みません。

調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は大学・研究者に帰属し、あなたには帰属しません。

この研究は、順天堂大学人体病理病態学及び呼吸器外科及び共同研究機関である早稲田大学ナノ・ライフ創新研究機構の研究費によって実施しておりますので、外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画し実施するものです。従いまして、研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。また、本研究の責任医師および分担医師には開示すべき利益相反はありません。

上記の検体を共同研究実施のために下記機関に対して提供します。

【主な提供方法】 郵送・宅配

・早稲田大学 ナノ・ライフ創新研究機構（研究責任者 竹山 春子）

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」第12の1(2)アの(ウ)の規定により、研究者等は、被験者からインフォームド・コンセント(説明と同意)を受けることを必ずしも要しないと定められております。そのため今回の研究では患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

この研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

順天堂大学医学部 人体病理病態学講座

電話：03-3813-3111（内線）3253

研究担当者：林 大久生